

**製品名: LMO4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13359**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	44kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LMO4
別名	LMO4; LIM domain transcription factor LMO4; Breast tumor autoantigen; LIM domain only protein 4; LMO-4
遺伝子 ID	8543.0
SwissProt ID	P61968
免疫原	抗血清はヒト LMO4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 116-165

**背景**

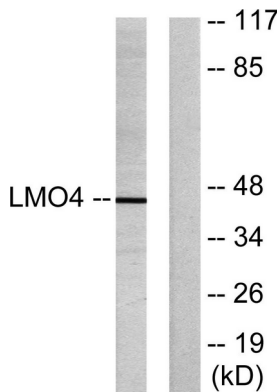
LIM ドメインのみ 4(LMO4) Homo sapiens この遺伝子は、2つの LIM ドメインを含むが DNA 結合ホメオドメインを欠く、システイ

に富むタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、転写調節因子またはがん遺伝子として働く可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 8 月],機能: 転写因子と推定される。類似性: 2つの LIM 亜鉛結合ドメインを含む。サブユニット: LDBS と強く相互作用する。DEAF1、CLIM1、CLIM2 と相互作用する。、

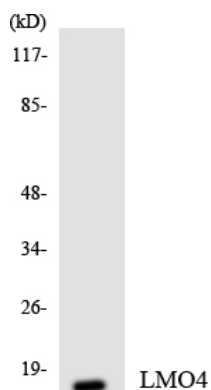
## 研究分野

-

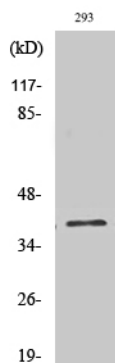
## 画像データ



LMO4 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



LMO4 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



LMO4 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。